

新年のごあいさつ

沖縄県社会福祉協議会
沖縄県共同募金会
会長 新垣 雄久



新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春を、お健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、世界的な金融不安に端を発した不況の進行や物価高騰による生活必需品の値上げなど、国民生活に大きな影を落とした年でもありませんでした。

また、近年、生活環境の変化や地域の連帯意識の希薄化等により、既存のサービスだけでは解決できない生活不安を抱えた人々が増えており、高齢者や障害者の自立支援、権利擁護、災害時の要援護者支援等への取り組みの強化が急務となっております。

こうした中、厚生労働省の「これらの地域福祉のあり方に関する研究

会」が発表した報告書においては、地域福祉の推進は住民と行政が協働で行う活動として明確化され、地域における「新たなささえ合い」いわゆる「共助」の仕組みづくりの拡大・強化が強調されているところであります。

沖縄県社会福祉協議会では「杜協における権利擁護システムに関する調査研究委員会」を立ち上げ、二一ズや効果、実施内容全般にわたって実態調査を行い各関係機関へ提言をするとともに、災害時支援においては、沖縄県民生委員児童委員協議会と連携して要援護者の把握や支援のあり方について協議を重ねてまいりました。

新年は、これらの成果を踏まえ県民一人ひとりが共に支え合い、安全で安心して生活することができる地域社会の実現を最重要課題として取り組んでまいります。

年の初めにあたり、県民の皆様のおますの御健勝と御多幸をお祈り申しあげますとともに社会福祉に対するなお一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成21年元旦

沖縄県功労者表彰・秋の叙勲 厚生労働大臣表彰受章者の紹介

【沖縄県功労者表彰】

(地方自治功労)

新垣 雄久氏

(沖縄県社会福祉協議会・沖縄県共同募金会 会長)

沖縄県副知事として第2次沖縄振興開発計画を推進し、諸施策の確実な展開を図り、本県の自立発展に向けた基盤整備に尽力するなど、本県の振興に貢献された。

(社会福祉功労)

仲里 文江氏

(那覇市社会福祉協議会福祉相談室 相談員 多年にわたり福祉委員、民生委員児童委員を務め、困っている人たちのもつとも身近な相談者として献身的な活動を続けるとともに、後輩の育成にあたるなど、本県の地域福祉の発展に貢献された。)

【秋の叙勲】

瑞宝双光章(社会福祉功労)

神谷 幸枝氏

(特別養護老人ホーム大名 施設長)

瑞宝単光章(社会福祉功労)

島袋 富士子氏

(元民生委員・児童委員)

宮里 留美子氏

(元糸満市立川尻保育所長)

【厚生労働大臣表彰】

安里 嗣昌氏

(那覇市民生委員・児童委員)

上地 清子氏

(那覇市民生委員・児童委員)

照屋 照子氏

(那覇市民生委員・児童委員)

知名 晶子氏(首里厚生園寮母)

仲山 洋子氏(首里厚生園寮母)

入米藏あき美氏(首里厚生園寮母)

我如古 弘子氏(善隣福祉会理事)

西里 博吉氏

(宮古福祉保健所福祉班長)

玉城 讓治氏

(身体障害者更生相談所相談判定班長)



▲沖縄県功労者表彰式典の様子

生活福祉資金貸付制度

〔療養・介護等費(介護等費)の紹介〕

本制度は、低所得世帯、障害者世帯又は高齢者世帯に対し、民生委員の援助指導のもと必要な資金の貸付を行い、世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れることを目的としております。必要に応じて様々な資金種類がございますが、今回は「療養・介護等資金(介護等費)」についてご紹介いたします。

※ご相談については、お近くの民生委員、または市町村社協へお問い合わせ下さい。

療養・介護等資金(介護等費)	
主な使途内容	介護サービスや障害者サービス等を受けるのに必要な経費
対 象	低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯
貸付限度額	170万円
据置期間	6ヶ月以内
返済期間	5年以内
連帯保証人	1名必要
利 子	無利子

★審査によりご希望に添えない場合があります。又、審査内容についてはお答えできません。

事例紹介

「段差解消で住みやすく」

- 世帯構成(2名世帯)
Aさん 70歳
妻 69歳
子 48歳(別世帯)
- 借入額(約35万円)
- 返済回数・月額(36回/約10,000円)
- 貸付内容

Aさんは奥さんと2人で、介護保険サービスを利用しています。これまでは何事もなく過ごしていましたが、最近になってAさんが、歩行に難が出てきたため、家の中の段差が問題となりました。そこで介護支援専門員の方に相談すると、介護保険にて住宅改修のサービスがあるとわかりました。しかし、その場合、一度費用を全額負担してから後にサービス分の費用が戻ってくるということでした。2人とも年金のみの収入で、子にも相談しましたが工事費用が準備できず悩んでいました。すると、介護支援専門員に生活福祉資金制度のことを教えてもらい、近くの社会福祉協議会へ相談したところ、介護等費にて申込が可能だとわかりました。2人は高齢のため、返済には不安もありましたが、子も協力すると申し出があり、連帯保証人として一緒に申込をし、無事に借入れができました。改修工事も終わり、段差をなくしたことで歩行がしやすくなりました。戻ってきたサービス分の費用を返済にあて、その後、自己負担分の金額を順調に返済しています。

※この事例は、「生活福祉資金事例集(平成15年)」全社協を参考に作成しました。

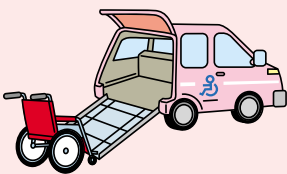
“突如ショッピングセンターに…”

見たことの無い道具?が、いっぱい並びました。

去る10月26日(日)にサンエー那覇メインプレイス様のご協力により、「ミニ介護体験と福祉用具展示相談」を開催しました。沖縄県介護実習・普及センターが『ミニ介護体験』を、沖縄県福祉用具事業者協議会は『福祉用具の展示相談』を担当しました。

実際に福祉用具を初めて見て・触れて・体験できるため驚く方や、新しい発見をされた方、介護相談をされる方もいらつしやいました。ショッピングセンター等での開催は初めてでしたが、来店されるお客様は、福祉(介護)に関心はあるがどうしたらいいのかわからない様子でした。これを機に地域密着で展示相談・講座を行っていきたいと思います。

最後に、ご協力戴きましたサンエー那覇メインプレイス様、沖縄県福祉用具事業者協議会様ありがとうございました。



“八丈島”と関係が…?

＜南大東島研修報告＞

ご存知でしたか?南大東島が「八丈島」と関係が深いことを…。南大東島で開催した講座で私は、そのことを知りました。

11月19日に『高齢者住宅の改修研修』を、20日に『在宅介護教室』『介護技術向上実務者研修』を開催しました。

住宅改修の講座の中で、沖縄本島と大東島の生活習慣と住宅事情の違いが取り上げられました。一例として、入浴の時、湯に浸かる率を比較してみました。さて、問題です。「本島と大東島、どちらが入浴時湯に浸かる率が高いでしょうか?」考えてみてください。

その土地の歴史と住宅事情を踏まえた講義に多くの参加者が楽しく学び、無事に終了することができて感謝です。

お問い合わせ
沖縄県介護実習普及センター
電話 098-882-1484
FAX 098-882-1486